

国史跡「仙台城跡」 災害復旧工事情報

No. 6 平成 25 年 12 月 16 日



【大手門北側土塀の復旧状況（図①）】

土塀は、躯体の乾燥に時間がかかっていましたが、7月末に復旧を終えました。



【中門石垣の復旧状況（図②）】

中門石垣は3月末に復旧が完了し、現在歩行者の通行ができるようになっています。



【本丸北西石垣の復旧状況（図③）】

本丸北西石垣は全長約 200mあり、そのうち3か所合わせて60mが崩落し、広い範囲が変形しました。復旧が必要な部分は本年3月までに解体をしました。積み直しは、復旧範囲が広いので平成25年度と26年度の2か年で行います。25年度は解体範囲の南半部の積み直しを行っており、現在までに半分の高さまで石積みが進んでいます。



【西門石垣の復旧状況（図④）】

西門は仙台城本丸の西側にあり、城の搦め手（からめて＝裏口）にあたる重要な門です。この門の石垣も、地震で大きな被害を受けました。現在、崩落した石材を撤去し、変形した石垣の解体をしています。

